

福井フューチャーマイスターの認定状況

1 平成28年度認定状況

1,611名を8月10日付で認定

(内訳：ゴールド742名、シルバー471名、ブロンズ398名)

大学科	3年生 生徒数 (人)	認定							
		計		グレード					
				ゴールド		シルバー		ブロンズ	
農業	263	240	91%	112	43%	77	29%	51	19%
工業	666	550	83%	181	27%	148	22%	221	33%
商業	627	601	96%	417	67%	113	18%	71	11%
水産	54	51	94%	1	2%	35	65%	15	28%
家庭	124	123	99%	30	24%	76	61%	17	14%
福祉	25	25	100%	0	0%	10	40%	15	60%
総合	118	21	18%	1	1%	12	10%	8	7%
合計	1,877	1,611	86%	742	40%	471	25%	398	21%

2 資格試験の受験実績

H27から10月から制度開始

年度	H26	H27	H27 (6月末現在)	H28 (6月末現在)
受験者数	5,775	5,646 ^{※1}	(1,765)	(2,007)
難関資格等	2,293	2,538	(602)	(635)
合格数	3,095	2,893	(590)	(620)
難関資格等	780	836	(186)	(157) ^{※2}

※1 乙種危険物取扱者試験のうち、受検料補助対象が4類のみとなったことで他類(1~3、5、6類)の受験数が415人減少したため

※2 商業系を学ぶ生徒が減少したことで日商簿記検定2級の受験者数が減少し合格者も減少したことと、乙種危険物取扱者試験(4類)の難易度が上がったため

福井フューチャーマイスター制度

1 目 的

- 専門資格取得や検定試験合格をはじめ、コンクール、競技会等での入賞に向けた取り組みやボランティア活動など、生徒の意欲や活力の向上を促進する。
- 将来にわたり、地元企業において活躍できる能力や態度を養う。

2 特 徴

- 全職業学科（農業、工業、商業、水産、家庭、福祉、総合）を対象に認定
- 身に付けた知識や技能だけでなく、企業実習や部活動なども評価
- 都道府県単位では、全国初となる認定・支援制度

3 認定制度

- 資格取得、各種コンクールおよび企業実習等を得点化
 - ・難易度や企業ニーズの高いものから順に、S（30点）、A（20点）、B（12点）、C（7点）、D（5点）、E（3点）と得点化
- 3グレードで認定
 - ・合計点数により、合計点が50点以上を「ゴールド」、35点以上を「シルバー」、20点以上を「ブロンズ」として認定
- 就職採用選考時の履歴書や自己PR、面接時の話題として活用

4 支援制度

- 資格試験の受検料補助
 - ・即戦力となる人材を育成するため、難易度の高い資格については2/3を補助
 - ・地元産業界のニーズが高い乙種4類危険物取扱者や国内旅行地理検定3級については1/2を補助

5 認定する主な項目

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○資格検定等 <ul style="list-style-type: none"> ・簿記検定 ・乙種4類危険物取扱者 ・電気工事士 ・測量士補 ・介護福祉士 など | <ul style="list-style-type: none"> ○各種コンクール、部活動等 <ul style="list-style-type: none"> ・全国高校生ロボット競技会 ・ビジネススキルコンクール ・農業プロジェクト発表会 ・地域貢献・ボランティア ・部活動 など | <ul style="list-style-type: none"> ○企業実習等 <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ ・実践的長期企業実習 ・デュアルシステム ・介護実習 など |
|--|--|--|

6 学校の変化（先生の感想）

- ①新たな資格に挑戦するなど、これまで以上に頑張っている様子が見られる。
- ②グレードに対し敏感になり、競い合う意識が高まっている。
- ③得点アップを狙って、ボランティア活動に参加するなど生徒の励みになっている。
- ④受検料補助によって受験者が増え、更に上位級にチャレンジする生徒もおり、教員も含め一層取り組みを強めた感がある。